

災害医療論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、救急・災害医学講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

災害医療の原則や概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時(急性期から慢性期まで)に適切な活動ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 災害の種類や災害サイクル、支援体制、危機と危機管理について説明できる。
2. 災害時の医療救護活動のフェーズ(超急性期～静穏期)と各期の看護について説明できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本であるCSCATTTについて説明できる。
4. 被災した医療機関における受援についての机上訓練において討議できる。
5. 災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続するための机上訓練において討議できる。
6. トリアージの方法を理解し、実施できる。
7. 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる。
8. 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握するための机上訓練において討議できる。
9. がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐためのシミュレーションを実施できる。
10. 避難所における支援活動の机上訓練において討議できる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチメディア教室、災害時地域医療支援教育センター

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/7 金 4限	<p>【授業内容】災害医学総論/危機管理とは、災害関連法、防災とSDGs、CSCATTT、災害時の情報について説明できる</p> <p>【関連するSBO】1、3、7</p> <p>【事前学修:60分】災害に関連する法律、災害時医療対応の原則(CSCATTT)について「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する</p> <p>【事後学修:120分】災害における危機管理、防災とSDGs、災害時の情報について復習する</p>	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授
6/11 火 3限	<p>【授業内容】災害医学各論①/過去の災害時の医療活動について説明できる・超急性期から静穏期の看護について説明できる</p> <p>【関連するSBO】1、2</p> <p>【事前学修:60分】過去の災害における医療活動について事前に調べる、超急性期から静穏期の看護について「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する</p> <p>【事後学修:120分】災害の超急性期から静穏期の医療活動について復習する</p>	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授

6/18 火 3限	【授業内容】災害医学各論②/避難所での活動を説明できる・特殊災害について説明できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】避難所での活動について「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する、特殊災害について事前に調べる 【事後学修:120分】避難所での活動、各特殊災害の特徴と対応について復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授
6/21 金 3限	【授業内容】(実習/ロールプレイ)トリアージ/トリアージの方法を理解し、実施できる 【関連するSBO】6 【事前学修:60分】トリアージについて、「災害ケア論」の講義資料をもとに復習する 【事後学修:120分】トリアージの方法について実習した内容を復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
6/28 金 3限	【授業内容】(実習/ロールプレイ)情報通信・情報解析/災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる・収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる 【関連するSBO】7 【事前学修:60分】災害時における情報通信手段、広域災害救急医療情報システム(EMIS)について事前に調べる 【事後学修:120分】災害時における情報通信・情報解析について実習した内容を復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
6/28 金 4限	【授業内容】(机上訓練/協働型ケーススタディ)受援/被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる 【関連するSBO】4、5、8 【事前学修:60分】過去の災害で支援や救援を受けた医療機関での出来事について、事前に調べる 【事後学修:120分】机上訓練(受援)で実施した内容を復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
7/5 金 3限	【授業内容】(机上訓練/協働型ケーススタディ)避難所/災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる 【関連するSBO】5、8、10 【事前学修:60分】過去の災害における避難所での出来事、避難所運営ゲーム(HUG)について事前に調べる 【事後学修:120分】机上訓練(避難所運営)で実施した内容を復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
7/5 金 4限	【授業内容】(実習/シミュレーション)がれきの下の医療/がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる 【関連するSBO】9 【事前学修:60分】がれきの下の医療(CSM)、JR福知山線脱線事故で行われた医療について事前に調べる 【事後学修:420分】CSMについて実習した内容及び全8回分の授業の内容を復習する	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	災害医学 第2版	山本保博	南山堂	2009
推	DMAT標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会	へるす出版	2015

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択式問題及び論述式)100%
【形成的評価】Google フォームを用いた講義毎の振り返りシートで理解度を確認する

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 講義毎の振り返りシートにおける質問に対し、次の授業または WebClassにてフィードバックする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):統合分野 看護の統合と実践 【ICT の活用】 講義資料は WebClass で配信する
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影
実習	レサシアントレーニングシステム	10	トリアージ実施演習
実習	トランシーバー(MOTOROLA GDB4500)	28	情報通信演習
実習	避難所運営ゲーム(HUG)	6	避難所運営机上訓練